

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4271300321		
法人名	社会福祉法人 善友会		
事業所名	グループホームさざんか		
所在地	長崎県諫早市小長井町小川原浦654-5		
自己評価作成日	令和3年7月22日	外部評価結果確定日	令和3年9月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

母体である、医療法人七久会山崎病院が隣にあり、緊急時の迅速な対応や日常の健康管理が適切に提供できる。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/42/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JgyvsvoCd=4271300321-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

母体の病院が併設しており、何かあればすぐに相談できる体制が整っている。母体の病院へ入院した後入所するケースもあり、入院から入所まで継続した医療が提供できている。事業所内は広々としており、共有スペースや、各居室には、職員や利用者が作成した工夫した飾り物がたくさんあり、明るい雰囲気であった。食事は、栄養バランスを考えられたメニューとなっており、ミキサー食と普通食で違いが分かるように写真に撮っており、家族や職員どちらにも説明がしやすいよう工夫がしてあった。また、同じ材料であっても好みによって調理方法を変えるなど、利用者本位に沿った支援を行っている。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 医療福祉評価センター		
所在地	長崎市弁天町14-12		
訪問調査日	令和3年8月19日		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	実践できている。	「みんなで暮らしを楽しむ」という事業所理念は、創設の時作成され、事業所の玄関に掲示もされている。みんなで楽しむために、月に1回レクレーションをすることを気がけており、コロナ禍で外出が制限されている中で、事業所内でできることを工夫している。	事業所理念があることは知っているが、その内容について職員にまで十分に浸透していないようであった。例えば年1回、事業所理念について話し合う機会を設けるなどして、理念を共有して、実践することを期待する。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的には行っていない。	コロナ流行前には、歌や踊りの慰問、習字の先生に来てもらう、中学生や高校生の職場体験などを受け入れていたが、コロナ流行後は全てお断りしている。自治会長へは、運営推進会議の報告書を送付し、また、食材は地域のスーパーから仕入れており、地域とのつながりを継続している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	活かせていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	活動報告がほとんどである。	以前は、隣接するグループホームと合同で、運営推進会議を開催していた。今はコロナ禍のため、運営推進会議報告書を、支所、包括支援センター、自治会長、民生委員へ送付している。	運営推進会議を開催していた頃から、家族へ参加依頼の声をかけていたが、なかなか参加までに至っていないとのことである。まずは運営推進会議で、どのようなことが話し合われているかを知ってもらうため、報告書を家族へ送付することを望む。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	事業所のケアサービスについて担当者に伝えている。	何か相談がある場合には、まずは法人内の事務局に相談し、そのあと必要に応じて諫早市役所か、小長井町支所へ相談する流れとなっている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	正しく理解して取り組んでいる。	基本的に身体拘束をしないという方針であり、今までも身体拘束はしたことがないとのことである。3ヶ月に1回、身体拘束廃止委員会を行い、利用者全員について、支援の状況と身体拘束の有無の報告を行っている。玄関の鍵は、昼間は鍵をかけず、ドアが開いたら音が鳴るようにしている。裏口の鍵は目が届きにくいいため常時施錠しているが、以前鍵を開けて外に出た利用者がいたため、法人の事務局へ相談をし、現在は2重鍵にしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	注意をはらい虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	外部研修に参加している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に十分な説明を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時及び通信時に随時ご意見やご要望を出して頂きたいと発信している。	家族からは要望などあれば、随時職員へ連絡がっている。利用者は自身の生活についての意思表示が難しいため、お茶の時間に食べたい物などを聞いて、できるだけ取り入れるようにしている。また、ケアプラン作成時にご家族から入所前の利用者の好みを聞いてメニューに取り入れたりしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議で意見や提案をだしてもらっている。	何かあれば、管理者へ伝えるようにしており、職員は休みもとれやすいとの意見である。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職場が明るくなるよう努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職場内、施設外研修にも力を入れていきたい。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	少しずつ交流する機会を増やしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメント時、入所時にご本人やご家族に困りごとやご要望を確認している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時にご家族に困っていることやご要望を確認している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	困りごとやご要望に添えるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事全般において、できることは無理のない範囲で一緒に行うようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会の呼びかけや通信などで日常の写真等送っている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	理美容等ご本人が馴染みにしている所がある場合は継続して利用していただいている。	以前は隣接の病院へリハビリに行った際に近所の人と会ったり、家族が墓参りに連れて行く、ドライブの途中で利用者が住んでいた家の前を通ることはしていたが、コロナ禍で、今年の7月からリハビリを中止し、病院から往診に来てもらうことに代わり、また外出制限のため、墓参りにいけなくなっている。ただ、希望者に限って家族が美容室に連れて行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様一人ひとりの認知症の症状、性格等を考慮して孤立したり対立しないよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談、支援できていない。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	食べたいメニューややりたい事を随時聞きとりをしている。	入所時のケアプラン作成時に利用者のご家族へ本人の食事等の好みやアレルギーなどについて聞いたり、日々の支援の中で利用者のリラックスした時間に意向を聞いたり聞き取りやすい声掛けを行ったりして、本人の意向を聞く工夫をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	契約時や面会時の際にご家族に聞きとりをし、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	記録に残し、職員に把握してもらっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	作成している。	入所前に管理者やケアマネがご家族に利用者の過ごし方等を聞き、ケアマネがアセスメントとケアプラン作成、家族へ同意をとっている。職員間の情報共有はケアプラン作成時や変更時に口頭で行っている。モニタリングとケアプランの見直しは現在1年に1回行っている。	現在はケアプラン作成にはケアマネのみで行っているとのことなので、今後は職員全員で内容の検討を行い、職員間の情報共有を行った上でのケアプラン作成を期待する。また、モニタリングとケアプラン見直しの一連の流れを再度確認し、各利用者のケアプラン見直しの時期を把握していただきたい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌に個人記録があるため、変化・気づきを記入している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	可能なかぎり柔軟に対応している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の把握ができていない。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	極力母体の山崎病院をかかりつけ医にいていただき、医師との良好関係を維持しながら、適切な医療を受けられるようにしている。	かかりつけ医は入所時に母体の山崎病院を勧めているが、希望すれば元のかかりつけ医の継続も可能である。病院が隣接しているため夜間休日の緊急時も迅速に対応できる。また、医師が毎週往診に来ており、利用者を2班に分けて隔週で受診しているため、医師が利用者の普段の様子も把握し少しの変化に気づくことができる。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	山崎病院の看護師に相談している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	情報交換している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者様、ご家族話し合いを行っている。	現在は事業所での医療的ケアはしない方針となっており、看取りも行っていない。入所者の体調に変化があれば、連携している母体の病院へ入院となり、その後、必要に応じて同じ系列の特別養護老人ホームの入所へ移ることとなっている。看取りは行っていないが、緊急時の対応については職員へ伝えていく。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的には行っていない。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 また、火災等を未然に防ぐための対策をしている	隣の併設の山崎病院と相互連携をとっている。	避難訓練は同法人の隣接する3施設(病院、特別養護老人ホーム、グループホーム)合同で年に2回、9月と3月に行っている。現在は新型コロナウイルス流行のため実施していないが、通常は避難訓練時に地元の消防署に来てもらい、消火器の使い方等の指導を受けている。また、法人の震災計画が作成されているので、現在はそれを応用して事業所独自の震災計画を作成中とのこと。	避難訓練は同法人の事業所で連携して合同で行っているが、事業所の避難訓練計画書と実施後の報告書を作成していないとのことなので、今後の作成を期待する。また、現在の備蓄は水のみ用意しているとのことなので、必要があれば同法人の病院等と連携しながら備蓄の整備を進めることが望ましい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりに合った言葉かけをしている。	利用者一人ひとりの要望に合わせて、方言や丁寧語のバランスを変え、柔らかい言葉かけを意識して接している。利用者に排泄面の話をする時は小さな声で話すようにし、失敗した際も「大丈夫」など利用者の安心に繋がる声掛けを行っている。個人情報の取り扱いについては、入所時にご家族に同意をとっている。	現在、支援の都合でほとんど全ての居室のドアを常時開けたままにしているので、昼間だけでも、利用者の希望があれば居室のドアを閉められるような対応を検討することを期待する。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	できるだけ利用者様に決定していただいている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事・入浴の時間以外は、できるだけ利用者様の意思を尊重して生活していただいている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	できるだけ利用者様に紙にくしをとおしてもらったり、洋服を選んでもらったりしていただいている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の下準備や食器拭きの手伝いをいただいている。	メニューは職員がバランスを考えて作成しており、母体の病院の栄養士に確認してもらうこともある。食事形態はきざみ、とろみ、ミキサーなどに対応しており、ミキサー食は通常食との比較写真を撮って職員やご家族への説明を行っている。また、同じ食材でも利用者の好みにより調理法を変えたりして個別に対応している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりに合った支援をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者様の力に応じたケアをしている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	早めの言葉かけをし、失敗やパット使用を減らしている。	排泄の記録を業務日誌に記録し、排泄パターンを把握している。排泄の失敗やパットの使用枚数を減らせるように早めの声掛けを心がけ、食事前やお茶の時間の時にトイレ誘導している。その結果、以前は昼のパット交換が必要だった利用者が現在は交換がほとんど必要ない状況まで改善した事例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食後に体を動かす体操をしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	曜日は決めているので、個々にそった支援はできていない。	利用者は基本的に週2回、火曜日と土曜日に曜日を決めて入浴している。その中で午前と午後の希望を聞いたり、血圧や体力などの体調面を考慮して臨機応変に対応している。入浴を断られた時は、泡シャンプーや温タオルでの清拭などを行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調や気分・室温などに配慮し適切に休息していただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を職員に目を通してもらっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	下準備や食器拭きなど手伝いをさせていただいたあと、感謝を伝え喜びを感じていただけるようにしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	戸外への出かける支援はできていないが、ホームの周りを散歩の支援をしている。	夏は熱中症防止のため散歩等も行っていないが、気候が穏やかな時期は事業所の敷地内で散歩しており、散歩後は利用者の表情が明るくなるとのこと。また、買い物もコロナウイルス感染防止のため制限しているので、利用者の希望を聞いて職員が買い物の代行を行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	紛失などのトラブルを避けるため、利用者様が必要な物はご家族に購入を依頼するか、ホームの方で立て替えるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様、ご家族の希望で電話で話をしてもらったり、手紙をもらっている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁に季節に合った飾り付けをし、毎月、月末に次月のカレンダーの色ぬりをしてもらって季節感をとりいれている。	共用空間は居間と廊下が一続きになっており、事業所全体を見渡せる広々とした作りである。貼り絵や折り紙など職員手作りの飾りを月替わりで掲示しており、季節感のある生活空間となっている。また、椅子には編み物が得意な利用者で作ったカラフルな椅子カバーが掛けられており、家庭的な雰囲気を作り出している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルの席の隣同士、前後で話がしやすいように工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	火を扱うもの以外家で使用していたもの、好みのものを自由に持ってきていただき、居心地をよくしてもらっている。	居室の温度管理は事務所のエアコンで一括管理しており、職員が随時室温の調整を行っている。備え付けのタンスとベッド以外は、なじみの物の持ち込みは自由となっている。居室によってソファや家族の写真、習字の作品、色紙等があり個性がある居室となっている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	転倒のリスクが高くない限り、できるだけ見守りだけで好きなことや、やりたいことを自由にさせていただいている。		